

盛岡市産業廃棄物処理計画書

2025年5月30日

盛岡市長 様

提出者

住 所 盛岡市東見前1地割33番地の2
 氏 名 盛岡小野田レミコン 株式会社
 代表取締役 西川 芳徳
 電話番号 019-638-1620

盛岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第10条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業場の名称	盛岡小野田レミコン 株式会社
事業場の所在地	盛岡市東見前1地割33番地の2
計画期間	2025年4月1日 ~ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	433,534,219円
③ 従業員数	15名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p style="text-align: center;">中間処理業者引取 ↑ (コンクリートくず) 生コン製造→生コン納入→残コン発生→工場固化処理 ↓ (汚泥) 収集運搬業者に依頼、又は中間処理業者に直接搬入</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
公害防止統括者	取締役工場長	[REDACTED]	
公害防止担当者	取締役工場長	[REDACTED]	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	排出量	2299.37 t	29.44 t
	(これまでに実施した取組)		
<p>生コン納入時、施工者と十分な打ち合わせを行い、残コンがなるべく発生しないように努力しています。また昨年の7月より、生コン協組にて残コン処理の体制と料金の見直しがありました。残コンの発生数量は減少したものの、発生件数は増加しております。</p> <p>これは、新規に残コン0.5㎡未満にも処理料金が発生となったためです。</p> <p>施工者の意識は向上したようですが抑制には繋がっていないように感じております。</p>			
② 計画	【目標】大部分が生産工程で発生しないため目標は立てられません。		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	排出量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>施工者に生コン協組としての体制の理解を深めて頂き、残コンの発生を減少させる意識と努力を促すよう説明し、理解を求めてまいります。</p>			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別処理はなし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別処理の予定はなし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用の実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 残コン等から砂、砂利、砕石を回収して再利用を検討したい。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
（これまでに実施した取組） 実績なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
（今後実施する予定の取組） 実施予定はなし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実績なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		
	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（残コン等）
① 現状	全処理委託量	2299.37 t	29.44 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2299.37 t	29.44 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 生コン原材料を購入している砕石運搬業者を営む産業廃棄物処理業者、及び岩手県生コン協組のリサイクル事業として委託を受けている処分業者を利用している。		

(第5面)

② 計画	【目標】 大部分が生産工程で発生しないため目標は立てられない。		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥 (残コン等)
	全処理委託量	未定 t	未定 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	未定 t	未定 t
	再生利用業者への 処理委託量	未定 t	未定 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き施工者、生コン販売店との事前打ち合わせ等を密に実施 していき、残コンの発生を抑制する。 2024年7月から残コンが発生した場合の返品処理料の細分化と値上げ を実施している。この体制を十分理解して頂き浸透させたい。		
※事務処理欄			